

第三セクターの経営情報について[北九州野球株式会社]

1 会社概要

(1) 事業内容

- ① プロ野球公式戦等の興行
- ② 北九州市民球場の広告、宣伝に関する業務
- ③ 北九州市民球場内の食料品等の販売に関する業務
- ④ 北九州市民球場等（北九州市民球場、三萩野球場）の指定管理業務

(2) 会社設立及び本市の出資額・割合

会社設立 昭和63年11月16日

資本金 50,000千円（本市出資金2,000千円 出資率4.0%）

(3) 経営情報の報告期間について

令和3年1月28日開催の「第31回定時株主総会」の第2号議案において、事業運営の効率化に向け、下記のとおり営業年度の変更を行った。

これに伴い、5か月間のつなぎ期間となった「第33期」及び「第34期」の17か月分の報告を行う。

〈定款の一部変更〉

変更前の定款	変更後の定款
(営業年度) 第25条 当会社の営業年度は、毎年11月1日より翌年10月31日までの年1期とする。	(営業年度) 第25条 当会社の営業年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までの年1期とする。

2 事業報告要旨等

第 3 3 期	令和2年11月1日から令和3年3月31日					
事業報告要旨	<p>令和2年11月から令和3年3月までは、グラウンドのメンテナンスや、台風被害や老朽化による不具合のため、施設の改修工事（軽微なもの）を実施した。</p> <p>また、利用実績では、北九州市内1年生高校野球大会（5試合）、九州都市対抗軟式野球大会（7試合）、九州地区高校野球福岡北部大会（21試合）等が行われたほか、企業の社内野球大会や大学・企業の野球部の試合を開催した。</p> <p>全てのイベントにおいて、主催者と共に新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な球場運営が行うことができた。</p>					
収支の状況	当期純利益	2,288 千円				
	直近三事業年度の収入及び損益の状況		第30期	第31期	第32期	第33期
			H29.11.1～ H30.10.31 (12ヶ月間)	H30.11.1～ R1.10.31 (12ヶ月間)	R1.11.1～ R2.10.31 (12ヶ月間)	R2.11.1～ R3.3.31 (5ヶ月間)
		売上高	116,799 千円	124,540 千円	93,059 千円	40,293 千円
		経常利益	4,035 千円	12,527 千円	12,531 千円	3,973 千円
	当期純利益	2,675 千円	9,917 千円	8,881 千円	2,288 千円	
繰越利益剰余金	48,008 千円					
株主総会	監査報告	監査役が監査を実施した結果、適正と認める。				
	議案	<p>令和3年6月16日に第33回定時株主総会が開催され、以下の議案が異議なく可決された。</p> <p>第1号議案 第33期貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表承認の件</p> <p>第2号議案 取締役8名選任の件</p>				

第 3 4 期	令和3年4月1日から令和4年3月31日					
事業報告要旨	<p>令和3年度は、コロナ禍のため、高校野球、大学野球など一部の大会が中止になったが、概ね当初の計画通り大会の利用があった。</p> <p>利用実績では、高校野球80試合、大学野球3試合、社会人野球36試合等が行われた。</p> <p>プロ野球では、日本プロ野球（NPB）公式戦2試合が、入場者制限の中行われ、合計14,698人の観客数となった。また、独立リーグのプロ野球チーム福岡北九州フェニックスが新たに発足し、開幕戦（3試合）が令和4年3月に開催された。</p> <p>いずれも、開催にあたり、県・市のガイドラインを遵守し、主催者の自主ガイドラインに則った感染症対策に注力した。</p> <p>自主事業では、福岡ソフトバンクホークスの協力による各種「野球教室」を開催するとともに、施設面においてはグラウンドレベルや設備等の改善を行い、施設の安全性・快適性の向上を図った。</p> <p>令和4年度は、日本プロ野球公式戦（2試合）や、令和4年3月に始まった日本女子ソフトボールのトップリーグ「JDリーグ」の試合等の開催が予定されている。</p>					
収支の状況	当期純利益	4,503千円				
	直近三事業年度の収入及び損益の状況		第31期	第32期	第33期	第34期
			H30.11.1～ R1.10.31 (12ヶ月間)	R1.11.1～ R2.10.31 (12ヶ月間)	R2.11.1～ R3.3.31 (5ヶ月間)	R3.4.1～ R4.3.31 (12ヶ月間)
		売上高	124,540千円	93,059千円	40,293千円	115,652千円
		経常利益	12,527千円	12,531千円	3,973千円	6,175千円
	当期純利益	9,917千円	8,881千円	2,288千円	4,503千円	
繰越利益剰余金		52,511千円				
株主総会	監査報告	監査役が監査を実施した結果、適正と認める。				
	議案	<p>令和4年6月15日に第34回定時株主総会が開催され、以下の議案が異議なく可決された。</p> <p>第1号議案 第34期貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表承認の件</p> <p>第2号議案 取締役8名選任の件</p>				

事業報告

（自 令和2年11月1日 至 令和3年3月31日）

1. 株式会社の現況に関する事項

1. 事業の経過及びその成果

今期（令和2年11月～令和3年3月）は、芝の養生はじめグラウンドのメンテナンスを実施しました。また、台風被害と老朽化による不具合がみられ、施設の改修工事を実施しました。

利用実績として、11/1～3 北九州市内一年生高校野球大会（5試合）、11/8 北九州アマチュア野球選手権大会（3試合）、11/14～16 九州都市対抗軟式野球大会（7試合）、3/20～29 九州地区高校野球福岡北部大会（21試合）が行われました。また、企業の社内野球大会を初めて誘致することができ、他に大学、企業の野球部の試合も開催しました。全てのイベントにおいて、主催者と共に新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、無事に安全・安心な球場運営を行うことができました。三萩野球場では、キャンセルも発生しましたが、88件のご利用がありました。新型コロナウイルス感染症対策として、今後も引き続き、人数制限（無観客含む）、入館リストの作成、入場時の検温、手指消毒、マスク着用をはじめ、各諸室・備品等の定期消毒を徹底し、また主催者と協同しながら、安全・安心の球場運営を実施して参ります。

実施した主な改修工事として、照明塔塗装工事、分電盤新規入替工事、屋上防水工事、ベンチ前排水溝拡張改善工事等を実施いたしました。引き続き安全性、快適性の向上に努めて参ります。

球場広告については、来期に向けて地元企業をはじめとする従来からのスポンサーに加え、新規スポンサーの獲得を目指し、営業活動を行っております。

当期の売上高は、40,293,460円となり、営業利益は3,963,709円、当期純利益は2,287,927円となりました。なお、当期は事業年度変更により5か月間となっております。

令和3年北九州市民球場で開催のプロ野球は、4月20日福岡ソフトバンクホークス対東北楽天ゴールデンイーグルス戦（入場9,801人、開催済）の他6月30日福岡ソフトバンクホークス対埼玉西武ライオンズ戦が予定されています。6月の公式戦は「北九州鷹の祭典」として開催予定です。北九州の多くのファンが北九州市民球場に足を運び、熱いゲームを観戦いただけるものと確信しております。大学、高校野球等においても、各大会が予定されています。

2. 直前三事業年度の財産及び損益の状況

(財産及び損益の状況)

区 分	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期※ (当事業年度)
売上高 (千円)	116,799	124,540	93,059	40,293
当期純利益 (千円)	2,675	9,917	8,881	2,288
1 株当り当期純利益(円)	2,674 円 94 銭	9,917 円 09 銭	8,880 円 67 銭	2,287 円 93 銭
総資産 (千円)	96,065	104,354	117,150	118,409
純資産 (千円)	76,923	86,340	95,721	98,008

- (注) 1. ※第 33 期については、事業年度変更により 5 か月間となっております。
2. 上記記載金額の表示単位未満は、四捨五入表示をしております。

3. 対処すべき課題

安全・安心の球場運営を実施して参ります。

新型コロナウイルス感染症対策として、人数制限、入館リストの作成、入場時の検温、手指消毒、マスク着用をはじめ、各諸室・備品等の定期消毒を徹底します。また、主催者と協同しながら、感染症対策に取り組んで参ります。

4. 主要な事業内容

- ①プロ野球公式戦等の興行
- ②北九州市民球場内の広告、宣伝に関する業務
- ③北九州市民球場内の食料品等の販売に関する業務
- ④北九州市民球場等の指定管理業務

5. 使用人の状況

使用人数	3 名	(前事業年度末比	1 名増)
平均年齢	48.3 歳	平均勤続年数	11.8 年

2. 株式に関する事項

- ① 発行可能株式総数 4,000 株
- ② 発行済株式の総数 1,000 株
- ③ 当事業年度末の株主数 46 名

④ 主要な株主の状況

株 主 名	持株数	保有割合
北九州市	40 株	4%
第一交通産業株式会社	40 株	4%
株式会社ゼンリン	40 株	4%
株式会社西日本シティ銀行	40 株	4%

3. 会社役員に関する事項

地 位	氏 名	重要な兼職の状況
代表取締役社長	田中 亮一郎	第一交通産業(株)代表取締役社長
取 締 役	羽田野 隆士	北九州商工会議所専務理事
取 締 役	安積 研二	福岡ソフトバンクホークス(株)顧問
取 締 役	森田 隼人	シャボン玉石けん(株)代表取締役社長
取 締 役	加治 敬通	(株)ハローデイ代表取締役社長
取 締 役	鶴岡 直樹	(株)ゼンリン執行役員社長室長
取 締 役	中谷 正紀	第一交通産業(株)顧問
取 締 役	松本 裕美	北九州野球(株)管理部長
監 査 役	竹尾 祐幸	(株)西日本シティ銀行取締役専務執行役員
監 査 役	重見 亘彦	辻・重見税理士法人 代表社員

計 算 書 類

貸 借 対 照 表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	108,546,222	流動負債	18,350,259
現金及び預金	95,976,549	未払費用	6,713,747
未収入金	5,830,852	前受金	8,580,000
前払費用	4,708,944	預り金	287,112
立替金	2,063,877	仮受金	752,500
貸倒引当金	△ 34,000	未払法人税等	790,300
固定資産	9,862,503	未払消費税等	1,226,600
有形固定資産	7,467,639	固定負債	2,050,000
建物	2,817,361	役員退職給付引当金	2,050,000
建物附属設備	50,255	負 債 合 計	20,400,259
構築物	1,961,219	(純資産の部)	
機械装置	2,480,154	株主資本	98,008,466
車両運搬具	21,486	資本金	50,000,000
工具器具備品	137,164	利益剰余金	48,008,466
無形固定資産	291,200	その他利益剰余金	48,008,466
電話加入権	291,200	繰越利益剰余金	48,008,466
投資その他の資産	2,103,664	純 資 産 合 計	98,008,466
長期前払費用	2,103,664		
資 産 合 計	118,408,725	負 債 ・ 純 資 産 合 計	118,408,725

損 益 計 算 書

(自 令和2年11月1日 至 令和3年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額	
売上高		40,293,460
広告売上		8,625,001
手数料収入		408,989
球場管理収入		31,259,470
売上総利益		40,293,460
販売費及び一般管理費		36,329,751
営業利益		3,963,709
営業外収益		
受取利息	1,426	
雑収入	7,378	8,804
経常利益		3,972,513
特別損失		
固定資産除却損	897,073	897,073
税引前当期純利益		3,075,440
法人税・住民税及び事業税	787,513	787,513
当期純利益		2,287,927

株主資本変動計算書

(自 令和2年11月1日 至 令和3年3月31日)

(単位：円)

	株主資本			株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	利益剰余金			
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
前期末残高	50,000,000	45,720,539	45,720,539	95,720,539	95,720,539
当期変動額					
当期純利益		2,287,927	2,287,927	2,287,927	2,287,927
当期変動額合計		2,287,927	2,287,927	2,287,927	2,287,927
当期末残高	50,000,000	48,008,466	48,008,466	98,008,466	98,008,466

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定に基づく法定繰入率により、回収不能見込額を計上しております。

② 役員退職給付引当金 役員の退職給付に備えるため、役員が退職した場合に必要となる退職金を計上しています。

(3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の数 1,000株

監 査 報 告 書

令和2年11月1日から令和3年3月31日までの第33期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

なお、当社の監査役は、定款に定めるところにより、監査役の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

1. 監査の方法及びその内容

私たちは、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を開覧いたしました。また、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 3 年 5 月 2 6 日

北九州野球株式会社

監査役 竹尾 祐 幸 ⑩

監査役 重見 亘 彦 ⑩

株主総会参考書類

議案および参考事項

第1号議案 第33期(令和2年11月1日から令和3年3月31日まで)貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表承認の件

議案内容は、5頁から8頁に記載のとおりであります。

第2号議案 取締役8名選任の件

本総会終結の時をもって取締役8名が任期満了となりますので、取締役8名の選任をお願いするものであります。

その候補者は次のとおりであります。

氏名	重要な兼職の状況	所有する当社の株式数
田中 亮一郎	第一交通産業(株)代表取締役社長	0株
羽田野 隆士	北九州商工会議所専務理事	0株
安積 研二	福岡ソフトバンクホークス(株)顧問	0株
森田 隼人	シャボン玉石けん(株)代表取締役社長	0株
加治 敬通	(株)ハローデイ代表取締役社長	0株
鶴岡 直樹	(株)ゼンリン執行役員社長室長	0株
中谷 正紀	第一交通産業(株)顧問	0株
松本 裕美	北九州野球(株)管理部長	0株

(注) 各候補者と当社間に特別の利害関係はありません。

事業報告

（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

1. 株式会社の現況に関する事項

1. 事業の経過及びその成果

今期は、コロナ禍の中、高校野球、大学野球など一部の大会が中止にはなりましたが、概ね当初の計画通り大会の利用がありました。

県・市のガイドラインを遵守し、NPBをはじめ各利用団体の自主ガイドラインに則り、感染症対策に注力しながら、無事安全に開催されました。

利用実績として、高校野球80試合、大学野球3試合、社会人野球36試合、少年野球18試合、軟式野球7試合、その他企業野球部の利用も数試合行われました。

プロ野球は、入場者数の制限等がある中ではありましたが、4月20日福岡ソフトバンクホークス対東北楽天ゴールデンイーグルス戦（入場 9,801 人）、6月30日福岡ソフトバンクホークス対埼玉西武ライオンズ戦（入場 4,897 人）の2試合が予定通り開催されました。三萩野球場においては、255件のご利用がありました。

さらに今年は、独立リーグのプロ野球チーム福岡北九州フェニックスが発足し、開幕戦（令和4年3月19日～21日）が北九州市民球場にて開催され、盛り上がりを見せました。今後、6月・8月に各3試合が予定されております。

また、自主事業として、福岡ソフトバンクホークスのご協力により、従来から行っていた野球教室「ホークス野球塾」や「ベースボールキッズ」とは別に、11月に中学生を対象として「北九州ベースボールクリニック」を開催しました。北九州市内の中学校8校から111名のご参加をいただきました。参加された選手、関係者の皆様にはご好評いただいております。今年度以降も継続実施し、北九州の野球の振興、技術の向上に貢献し、健全な青少年育成の一助となれればと考えております。

今期実施した主な改修工事は、1塁側旧ブルペン屋根の補修、内外野境界線の改修整備、1塁側ブルペンの傾斜解消整備などグラウンドレベルの改善の他、スピーカーの改善、屋外トイレの修繕等を実施いたしました。今後も引き続き安全性、快適性の向上に努めて参ります。

球場広告については、地元企業をはじめとする従来からのスポンサーに加え、新規スポンサーの獲得を目指し、継続して営業活動を行っております。

当期の売上高は、115,652,450 円となり、営業利益は 5,960,569 円、当期純利益は 4,502,811 円となりました。

令和4年北九州市民球場で開催のプロ野球は、4月16日福岡ソフトバンクホークス対東北楽天ゴールデンイーグルス戦（入場18,709人、開催済）の他7月20日福岡ソフトバンクホークス対東北楽天ゴールデンイーグルス戦が予定されており、7月の公式戦は「北九州鷹の祭典」として開催予定です。北九州の多くのファンが北九州市民球場に足を運び、熱いゲームを観戦いただけるものと確信しております。

また、新たに日本女子ソフトボールのトップリーグ「JDリーグ」（令和4年3月よりスタート）の試合が、5月と10月各2日間（各4試合）開催されます。その他、大学、高校野球等においても、各大会が予定されており、隔年開催の夏の高校野球福岡県大会が7月に北九州市民球場で開催予定となっております。

2. 直前三事業年度の財産及び損益の状況

（財産及び損益の状況）

区 分	第31期	第32期	第33期※	第34期 (当事業年度)
売上高（千円）	124,540	93,059	40,293	115,652
当期純利益（千円）	9,917	8,881	2,288	4,503
1株当り当期純利益(円)	9,917円09銭	8,880円67銭	2,287円93銭	4,502円81銭
総資産（千円）	104,354	117,150	118,409	133,995
純資産（千円）	86,340	95,721	98,008	102,511

（注）1. ※第33期については、事業年度変更により5か月間となっております。

2. 上記記載金額の表示単位未満は、四捨五入表示をしております。

3. 対処すべき課題

安全・安心の球場運営を実施して参ります。

新型コロナウイルス感染症対策として、人数制限、入館リストの作成、入場時の検温、手指消毒、マスク着用をはじめ、各諸室・備品等の定期消毒を徹底します。

また、主催者と協力しながら、感染症対策に取り組んで参ります。

4. 主要な事業内容

- ①プロ野球公式戦等の興行
- ②北九州市民球場内の広告、宣伝に関する業務
- ③北九州市民球場内の食料品等の販売に関する業務
- ④北九州市民球場等の指定管理業務

5. 使用人の状況

使用人数	2名	(前事業年度末比	1名減)
平均年齢	42歳	平均勤続年数	12年

2. 株式に関する事項

- ① 発行可能株式総数 4,000株
- ② 発行済株式の総数 1,000株
- ③ 当事業年度末の株主数 46名

④ 主要な株主の状況

株主名	持株数	保有割合
北九州市	40株	4%
第一交通産業株式会社	40株	4%
株式会社ゼンリン	40株	4%
株式会社西日本シティ銀行	40株	4%

3. 会社役員に関する事項

地位	氏名	重要な兼職の状況
代表取締役社長	田中 亮一郎	第一交通産業(株)代表取締役社長
取締役	羽田野 隆士	北九州商工会議所専務理事
取締役	安積 研二	福岡ソフトバンクホークス(株)顧問
取締役	森田 隼人	シャボン玉石けん(株)代表取締役社長
取締役	加治 敬通	(株)ハローディ代表取締役社長
取締役	鶴岡 直樹	(株)ゼンリン参与
取締役	中谷 正紀	第一交通産業(株)顧問
取締役	松本 裕美	北九州野球(株)管理部長
監査役	竹尾 祐幸	(株)西日本シティ銀行取締役副頭取
監査役	重見 亘彦	辻・重見税理士法人 代表社員

計 算 書 類

貸 借 対 照 表

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	125,022,521	流動負債	28,933,392
現金及び預金	114,392,437	未払費用	10,972,395
未収入金	6,024,507	前受金	14,960,000
前払費用	4,444,000	預り金	268,697
立替金	197,577	仮受金	823,000
貸倒引当金	△ 36,000	未払法人税等	715,500
固定資産	8,972,148	未払消費税等	1,193,800
有形固定資産	6,729,312	固定負債	2,550,000
建物	2,635,841	役員退職給付引当金	2,550,000
建物附属設備	42,611	負 債 合 計	31,483,392
構築物	1,822,681	(純資産の部)	
機械装置	2,149,577	株主資本	102,511,277
車両運搬具	1	資本金	50,000,000
工具器具備品	78,601	利益剰余金	52,511,277
無形固定資産	291,200	その他利益剰余金	52,511,277
電話加入権	291,200	繰越利益剰余金	52,511,277
投資その他の資産	1,951,636	純 資 産 合 計	102,511,277
長期前払費用	1,951,636	負 債 ・ 純 資 産 合 計	133,994,669
資産合計	133,994,669		

損 益 計 算 書

(自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目	金 額	
売上高		115,652,450
広告売上		25,000,007
レストラン売上		1,564,237
チケット収入		8,341,826
興行収入		5,723,653
球場管理収入		75,022,727
売上総利益		115,652,450
販売費及び一般管理費		109,691,881
営業利益		5,960,569
営業外収益		
受取利息	54,616	
貸倒引当金戻入額	34,000	
雑収入	125,580	214,196
経常利益		6,174,765
税引前当期純利益		6,174,765
法人税・住民税及び事業税	1,671,954	1,671,954
当期純利益		4,502,811

株主資本変動計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位：円)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
前期末残高	50,000,000	48,008,466	48,008,466	98,008,466	98,008,466
当期変動額					
当期純利益		4,502,811	4,502,811	4,502,811	4,502,811
当期変動額合計		4,502,811	4,502,811	4,502,811	4,502,811
当期末残高	50,000,000	52,511,277	52,511,277	102,511,277	102,511,277

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定に基づく法定繰入率により、回収不能見込額を計上しております。

② 役員退職給付引当金 役員の退職給付に備えるため、役員が退職した場合に必要となる退職金を計上しています。

(3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の数 1,000株

監 査 報 告 書

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第34期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

なお、当社の監査役は、定款に定めるところにより、監査役の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

1. 監査の方法及びその内容

私たちは、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和4年6月1日

北九州野球株式会社

監査役 竹尾 祐 幸 ⑩

監査役 重見 亘 彦 ⑩

株主総会参考書類

議案および参考事項

第1号議案 第34期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表承認の件

議案内容は、5頁から8頁に記載のとおりであります。

第2号議案 取締役8名選任の件

本総会終結の時をもって取締役8名が任期満了となりますので、取締役8名の選任をお願いするものであります。

その候補者は次のとおりであります。

氏名	重要な兼職の状況	所有する当社の株式数
田中 亮一郎	第一交通産業(株)代表取締役社長	0株
羽田野 隆士	北九州商工会議所専務理事	0株
安積 研二	福岡ソフトバンクホークス(株)顧問	0株
森田 隼人	シャボン玉石けん(株)代表取締役社長	0株
加治 敬通	(株)ハローデイ代表取締役社長	0株
鶴岡 直樹	(株)ゼンリン参与	0株
中谷 正紀	第一交通産業(株)顧問	0株
松本 裕美	北九州野球(株)管理部長	0株

(注) 各候補者と当社間に特別の利害関係はありません。